

講座だより

第3号
8月発行

8月26日(土)に「静岡県立大学」にて第3回目の養成講座を実施しました。様々な樹木に囲まれた緑が豊かな静岡県立大学のキャンパスをフィールドに、日本インタープリテーション協会理事の長谷川幸子氏を講師に迎え、野外体験を多く取り入れた講座を実施しました。森林環境教育の楽しさを感じる一日でした。以下、講座の様子です。



【講師の長谷川幸子氏による講義の様子】



【実際の森林での体験実習の様子】

森林環境教育指導者養成講座では、『より良く伝わる』ためにインタープリテーションについて学びます。今回の午前中は講師の長谷川氏が実施するプログラムを体験し、実際に受講者が自ら体験し学ぶ時間としました。暑さに負けず、受講者は夢中になって葉っぱを探したり、子どもの様に楽しみながらプログラムに取り組んでいました。この時間はプログラムの具体的な内容だけでなく、講師の立ち振る舞いから多くのことを学ぶ時間になりました。



【グループ実習で観察している様子】



【実習で考えた解説を発表している様子】

午後は受講者が実際により良く伝わるための視点や、工夫を考える実習を行いました。最初に自分が面白いと思うものを探し、それをグループ内で共有し合いました。その次にグループで素材をひとつ決め、それについて参加者の興味を惹きつける伝え方の工夫を考え発表し合いました。1日という短い時間でしたが、講師が提供してくれた体験実習から、インタープリテーションの目的やより良く伝わるための考え方を知ることができました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課 緑化班
電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp